

【別紙】

一般社団法人 日本ボクシング連盟 令和2年度 第3回理事会別添資料

2020.6.28

【研修】

研修1【会長 〃】ガバナンスコード対応及び公益法人化に向けた研修

① 「公益法人化の目的」について

後藤理事：公益化については勉強中ですが、やはり公益化したほうがいいのか。

山崎弁護士：それは間違いない。連盟の収入にも大きく寄与する部分がある。

ボクシングの振興が目的であるなら公益化した方がよい。

西山理事：寄付金控除は法人と個人があるが、個人に説明する場合の添付書類はどういうものが必要か。

山崎弁護士：個人でも控除はあるがはっきりはわかりません。

椿原弁護士：基本的には税理士の分野なので細かい点は難しいが、所得税では特定寄付金の範囲に含まれるので適応の可能性がある。法人税での寄付金控除は適応される。

門田理事：公益法人化への個人の温度差があるが現状のままで公益化できるのか。

山崎弁護士：簡単ではない。時間はかかると思うが2つの側面から解決していく必要がある。

1. ステップを踏む必要がある。処分の解除やガバナンスコードの適応など1つずつ解決。

2. 事前相談で言われていることを変えなければいけない。

定款等、理事の認識、会議が長い、理事の決め方など。

山口理事：逆に経済的にひっ迫している状況が劇的に変化し利益が出た場合は公益化に影響はあるのか。

利益をあげすぎとか税金が発生するなど。

山崎弁護士：財産的基盤があればむしろプラスの要素となると思う。

椿原弁護士：収支相償の問題では単年度で大きな利益を出してはいけない事と、営利事業が50%を超えてはいけないという2つの問題かと思うが、サッカー以外で問題となっている事例はない。

収支相償はコロナの関係もあり内部留保も合理的な理由があれば認められるのではないか。

本当に儲かれば株式会社という形をとっている競技もあるので儲かってから考えればよい。

佐藤義理事：内閣府が承認するために勧告を受けている状況で旧理事が残ることは大丈夫か。

山崎弁護士：事前相談を利用する中で、旧理事が懸念されているのは間違いない。しかし、いたら絶対ダメとは言われていない。確実に議論にはなるので、合理的な説明が求められる。2つあり、1つは旧体制時の関わり方、もう1つは現体制でのその方の必要性。これは貢献や競技者としての実績ではなく、今後のボクシング連盟の運用の中で、この点が必要である。この人しかできないから必要である、というレベルでの必要性が説明できなければ難しい。合理的な必要性がある。

仲間理事：合理的な理由とは、その個人が持つ資格や特殊な能力がなければ法的に仕事が回らないという理解でよろしいか。

山崎弁護士：資格だけでは代わりもいるので、ボクシング連盟内部の必要性というより、内閣府に客観的に必要性がわかってもらえる資料が必要となる。ハードルは高いと考える。

仲間理事：絶対に必要であると説明するには具体的にはどのような事例があるか。

山崎弁護士：最終的には事前相談で話しながら客観的に理解してもらうしかない。

高田弁護士：ガバナンスコードでは10年以内の理事の任期がいわれている。一人しかできない業務をつくるのはおかしい、であるとか、内部の事情でこの人でなければ、ということはあっても現在の潮流ではそういうことは認められない。なぜ後任を育てていないのか、ということになる。この人でなければダメでは難しいので事前相談を利用しながら検討していくことが必要。

②公益化キャンペーンについて

石橋理事：公益化はぜひ進めていきたいが展開するタイミングが重要かと思う。勧告処分が解けてからの方がよいのではないか。

富岡氏：解除の見込みはたっていない中で、内閣府に事前相談をすることもはばかれる状況ではあるが、意気込みとしての取り組みはマイナス要素ではないので並行して進めることは可能かと思う。

山崎弁護士：石橋理事の認識もなるほどと思うが、重なる部分も多いので、同時に目指してもいい。むしろ必要であると考えます。

【議事】

決議1【専務理事】定時総会招集の件

梅下議長：開催日は7月18日（土）でよろしいか。

※特に意義はなし。

時間と場所は未定としているが、アンケートの結果を待ってはどうか。

内田会長：東京は避けたほうがよいのでは。コロナの感染が増えている。アンケートの回収を急げないか。

吉沼理事：時間と場所は書面決議をする必要がある。

仲間理事：提出がない都道府県は希望なしとしないと決まらない。

中島常務理事：アンケートの〆切は30日になっている。

仲間理事：関東を避けたい方もいるので、その意見も尊重しつつ〆切を待って書面決議をしたらどうか。

梅下議長：開催日は7月18日（土）。場所と時間はアンケート結果を待ち書面決議とするということよろしいか。

※特に意義はなし。

報告1【強化委員長】東京五輪代表選手内定維持及び世界最終予選出場選手の出場権維持について

本委員長：令和2年3月20日に強化委員会男女エリート担当会議にて男子4名、女子2名の出場選手を選考した。その後オリンピックが延期になり内田会長から代表維持の報告があったが、正式に報告していない。この場で報告させてもらいたい。根拠としてはIOCタスクフォースが発表している名簿及び参加資格によって、出場権が維持されていることである。

【その他】

(1) セカンド資格の更新延長について

中村委員長：セカンド制度に関する規定について、有効期限があるが本年度は大会や講習の目途が立たないことから、4年目間セカンドをする機会がなかった方の更新の延長について認めてはどうか。

梅下議長：意見がある方はお願いします。ないようですので今年度の更新は延長を認めます。

(2) 全日本選手権ブロック予選の現状について

吉沼理事：全日本選手権ブロック予選について関東は9月に予定しているが開催が危ぶまれる。神奈川県は8月一杯大会開催ができない状況である。各ブロックの開催可否について調査をお願いしたい。全日本選手権の開催可否の判断基準にもなるかと思う。

梅下議長：都道府県大会が決定している地域はありますか。

安川理事：北海道は9月に計画している。

門田理事：愛媛県は正式には決まっていないが、近日中に県連の総会で話し合いたい。

梅下議長：事務局の方から、アンケートでの調査をお願いします。

(3) 来年度の大会日程について及びUJの在り方について

小山田委員長：来年度の日程も検討中であり、UJ大会のあり方についても総務委員会で検討した。

詳細は別紙資料

梅下議長：何かご意見はありますか。特になし。

詳細は詰めていく必要はあるが、これをベースに進めるということをお願いします。

(4) 4月13日のLINEの詳細について

安川理事：6月6日の理事会が7時間と長かったので確認できなかったのですが、この場で確認させてください。LINEグループの「日本連盟（全役員）(41)」については、公式の連絡手段だと承知している。

4月13日付けの石橋先生がアップした、菊池先生や内田会長が内容について話されていた。過去のログの部分しか残ってないので、内容が把握出来てないが、どのような内容だったのか石橋先生に教えて貰いたい。他の理事の方も、同じように思っている方も居られると思う。石橋先生は誤りでしたとお話し（記載）されているが、正式な連絡網であるので、何がどういうふうに誤りだったのか、ご説明頂ければこの時にどのような状況だったのかわかるので、お話しただけではないでしょうか？

石橋理事：ちょっと遡って・・・4月ですか？

仲間理事：4月13日 10:40くらいに投稿されていると思います。石橋先生がメッセージを取り消しましたとなっている。

石橋理事：あの時は、誤ってLINEに流したんですけども、菊池先生がコーチ設置事業でコーチになられたということで、僕が聞いた流れの中では、事務局が忙しくなるから、その辺で仕事の段取りを調整しているということだったと思います。

門田理事：このLINEの内容はどなた方が話しあっていたのか？会長、副会長らが知らないところで話し合いが持たれており、そのメンバーの中に石橋先生とか吉沼さんとか、ガバナンス部という、日本連盟では中立公正な立場の方が居られというのが私的にショッキングだった。どなた方が話し合っていたのかを教えてください。

吉沼理事：コーチ設置事業の報告書の問題だったと思います。その書類に、まず強化委員長がまずハンコを押して、専務理事、そして事務局長がハンコを押して書類を出す。ご自分の報告書にご自分でハンコを押すのはまずいだろうということだったと思います。

仲間理事：実際にメッセージを読まれていない方も居られますので、スクリーンショットしたものを載せましたので、読みます。「おはようございます。吉沼さんから連絡があり、中島さんや梅下さん、吉沼さんたちではなしをしたようで、今年は菊池先生をコーチに選任させ、事務局は吉沼さんで調整に入ったようです。どちらにしても、近々理事会が開かれるようです。」と書いてありますので、中島さん、梅下さん、吉沼さん達なので他にもいらっしゃるのかもしれませんが、話し合っ、菊池先生の人事に関して、具体的に言えばアシスタントコーチになられているので、それ以外の事務局長、副会長の調整をするという話し合いをされていたというふうに見て取れる印象がある。門田先生も言われていた、人事については理事会なり会長なり、業務執行理事が話をして決めるものかなと思う。それでない方々が話し合われていて、かつ石橋先生に連絡が来て、ここに書かれていない誰かに送っていたことに疑問がある。石橋先生が明確に誰に送ろうとしたのか、吉沼さん、中島さん、梅下さんも含めていつ話し合いがされたのか。

梅下議長：内田会長、菊池先生にお話ししていますが、吉沼さんを事務局長で調整している話は、一度も調整したことも、話に出したこともありません。そこだけは、ハッキリさせていただきたいと思います。

内田会長：梅下さんから直ぐに連絡があり、私は調整しておりませんと、直接連絡を受けました。

石橋理事：調整という言葉が正しかったのかわからないですけど、この後に内田会長からLINEが来ていまして、会長はこのLINEの内容を見てなかったとのことで、教えてくれということで、やり取りをしたんですけど、人事に関わることの認識は全く無くて、会長に聞くと、そういう話もあったけど直ぐに却下したからと。

仲間理事：誰に送ろうとしたLINEなのか、完璧に教えてください。

石橋理事：何をですか？

仲間理事：誰に送ろうとしたんですか？

石橋理事：そうですね。

梅下議長：個人のことですから。

内田会長：内容が個人のことでないですから。

仲間理事：公開できる理事の共有できるところで投稿しているので、きちんと説明していただきたい。

石橋理事：これについては前だったので、グループでやり取りしているとかじゃなくて、たまたまそういう話を聞いてやり取りをしたような記憶です。

仲間理事：どなたとですか？

石橋理事：頂いたのは吉沼さんから頂いたと。

仲間理事：複数人の色々な人の名前も入ってますので、誰と誰がどう話してどうなったのかをクリアにしたいんです。まず、誰に送ろうとしたのか教えてください。覚えてないとは、そんなに前ではないと思います。しかも、わざわざ直ぐに消しているのです。

小斎理事：LINE上のことで、間違っ、送ることもあると思う。私もLINEは良くわからないけど、間違いはある。誰かに送ろうとしたものを、たまたま間違っ、送ったことだけのことで、今せつ、公益法人化のことをやっているんだから、取り立てて、あーでもない、こーでもないということではないと思う。

仲間理事：石橋先生はガバナンス部なので、誰かが恣意的に人事をどうこうすることに対してニュートラルで、発言してはいけない。私もガバナンス部なので、公益法人化もそうですし、ガバナンスコードもそうですし、フェアプレイガイドラインもそうですし、そういったことに関してニュートラルで居て、口うるさいことも言わないといけない苦しい立場だけど、きちんとしなければなら

い。石橋先生のガバナンス部員の立場として明確にしてもらいたい。公益法人化を進めて行くために大切なプロセスなんです。

中島常務理事：4月8日に私が異議申し立ての文章を出した。そのあと、菊池さんの問題はやむを得ないですね。こういう形で進んでいるからしょうがないですねと言われた。せめて、この報告書大丈夫なんですか？という話だった。報告書は菊池さんの名前で菊池さんが出すのですか？そういうことを前もやっていたのですか？そういうことの問題が出ませんか？と吉沼さんに言った。そうですね。せめて申請人の名前を変えないといけませんねと話した覚えはあります。

内田会長：その話ではないです。

中島常務理事：その話の流れですよ。

内田会長：その話とは内容が違う。

中島常務理事：私が副会長になりたいみたいな話になっている。

内田会長：石橋先生が言われている内容と、中島さんが言われている話の内容が違う。

石橋理事：人事に関わる内容の話なのか？僕の認識では、菊池先生がアシスタントコーチに選任されて、事務局の方の調整をしていると聞いたんですけど。これって人事なんですか？大きな問題になるのか？

菊池副会長：私は事務局長をしながら、私が知らない間に下ろされる話は人事の話でないでしょうか？それ以外に、私の知らないところで話が進むことも、ガバナンス上どうでしょうか？通常、理事会でこの仕事が被ってるのではないかと話が出たりすることによって、アシスタントナショナルってこういう仕事ですよって説明があると思う。そういう話も出ない中で、私も全く知らない中で、会長も知らない中で、私が事務局長を下りて、専念するとか吉沼さんが事務局長に就任されるとか、そういうことが進められることは、人事以外何物でもない。

石橋理事：菊池先生が下りるとか、吉沼さんがなるとかは聞いてない。コーチの方にシフトするという話ですよ。その時はハッキリ聞いてなかったけど、事務局長をやめられるのか、それともやりながら吉沼さんがサポートするのか凄く抽象的だったので、そんな流れなんだなあとか話を聞いてなかった。

菊池副会長：あの後、しつこく誰に送ったんですかと聞いたと思います。ですから、先生の記憶の中にはどなたに送ろうとしたのかは、鮮明に残っているはずですよ。それをお答えにならないのは、何かを隠しているようにしか思えない。先生のためにも、あれは誰に送ろうとしたのかを言われた方が、非常に皆さんが理解できる。

私も何度も知りたく、誰が計画して、誰が水面下で、理事会で諮らないことを進められたのか知りたく。ガバナンス上マズイですよ？そういうことが話合われる場所ではないですよ。聞きたいのは一つだけです。どなたに送られたのかだけ教えてください。それ以外のことは必要ありません。

石橋理事：菊池先生とそういう話をしたことを正直覚えてないです。会長とLINEでやり取りしたぐらいで、そのあとやり取りしたっていうのは。

仲間理事：記憶にないことはないと思うんです。本当に何でもないとするのであれば、どなたに送ろうとしたのか？そして慌てて消すということは、そこに送ろうとしたことではないということですよ。

石橋理事：そんなに大きくなる話でないと思っていたので聞いた話を自分自身が認識していなかった。そのあとの梅下さんのリアクションやコメントだったり、他の方からも連絡を頂いたので、僕が気付かなかったので、そこまで重要なことを送った感じのイメージがなかった。

中島常務理事：吉沼さんに、申請人と申請される人が一緒に、ガバナンス上問題ないのですか？と問いかけしましたよね？その話の延長ではないですか。

川上理事：小齋さんが話したように、送ったとか送らないとかのミスの問題でなく、内容の問題である。その内容を、会長が知らない内に、我々も知らない内に、裏でそういうことをした。選手ファーストと言いながら、理事がやることなのか？と疑問を持って質問している。そのところを答えてくればいいのか、石橋さんはどう考えるのですか？重要でないと言っているが、ガバナンス委員が、会長が知らない間にグループ内で話し合ったということが問題である。そのところをハッキリして貰わないと、正会員でも我々でも納得いかない。そのところを自分で考えて説明して欲しい。

石橋理事：なにか、あたかも、何人かが集まって、そういう話をしている様に捕えられているが、そういうのではなくて、たまたまそういう話の中で、実際さっきも言いましたように、会長からLINEが来て、会長にそのことを話した時に、そのことは聞いたけど却下したと回答を貰ってますので、

それなのに何で人事の話になるのかなと印象が強くて、何でこれがあたかも誰かが仕組んでいるみたいな言い方になったのか理解できなかった。

門田理事：大した問題でないんだから、包み隠さず簡単に説明して頂いたら、「あっ、それやったら、僕らの勘違いだ」と説明していただいたら結構ですので。誰にLINEを送ろうとされたのか？ただ、それだけです。簡単な話です。お願いします。

石橋理事：そんなに重いような話ではなかったの。

門田理事：だから何ですか？簡単ですから。先生を信用しますから説明してください。言わなかったら信用しません。

石橋理事：この人ではなく、誰かに送ったという印象しか残ってなくて、電話で聞いて、そうなんだって感じで話をしたような感じだった気がします。誰かと話合っただけをやったということではなくて、

仲間理事：LINEは明確に誰か宛にメッセージをつくる物なので。菊池先生も何度も内容を追及されているのに、その時のことを覚えてないというのは、先生の発言自体に信用度がない。他の人の名前も出ていますので、その方にも迷惑が掛かるかもしれないので、そこのところは明確にしてください。

中島常務理事：吉沼さん、ガバナンス部として問題ないですよと、私言いましたよね？申請の件で。

石橋理事：後のやり取りを見させて貰ってますけど、特段、誰という話はしてない。

内田会長：内容はどうでもいいんです。誰に送ろうとしたLINEなんですか？

石橋理事：だから、そこまで考えていなかったの、そんなに深く印象深くなかったからあまりよく覚えてない。他の何人かにももしかしたら、ちょっとわからないですね。

仲間理事：覚えていない何人かに送ろうとしたと仰ってましたが、もし水面下で行われているとしたら、誰に送ったかわからない不特定多数に送ろうとしていたら、それこそガバナンス上問題である。

石橋理事：だから認識の違いで。

仲間理事：送ろうとしたことを、覚えてないということはないと思う。先生の信頼のためでもある。

石橋理事：認識の違いで、これ自体が人事に関わることと認識していなかった。菊池先生のコーチの件で、忙しいから、それをサポートする形の話なのかなあと思ったりしたり、さっぱり真意がわからないところの話だったので、世間話的な話だった。あまり記憶がない。

仲間理事：やり取りの中で送った？返信するのであれば画面は変わらない。石橋さんが、最初に誰かに送ろうとしたメッセージだと思う。途中だからよくわからないとか？理解に苦しむ。

石橋理事：色んな人と話したので、この人というのはなかなか。

仲間理事：石橋さんは、こういった内容のLINEを覚えてない不特定多数の方に送るのですか？

石橋理事：送ったわけではなく、色んな方と、色んな話をしていたので、その中でこの話を誰に送ったか？誰にしたかを特定するのは難しい。

菊池副会長：客観的に言えば、今の話は先生にとって失敗だったと思います。先生を責めるような言い方ではなくて、先生の問題ではありませんよって、これ、誰が言っているのか？としたぐらいです。ですから、先生にとって心に残る失敗だったと思う。忘れてるという言い方は、客観的に言って、どなたも信用できないと思います。

千田理事：ある人たちが転覆させようという意図でなくて、こういう人がこんなに仕事を抱えてしまっただけはマズいよね？これどうなんだろう？ってある何人かが話し合ったという話ではないのか？転覆させようとしてる話に皆さん取られているのか？

菊池副会長：吉沼さんとで事務局長は調整に入ったようですと具体的な話になっているので、この内容については、かなり進んでいる内容だと感じた。これに関して、どなたに送ったかハッキリ分かれば、そういうことでなかったとなると思う。送った方が誰なのかを教えて貰えれば、千田理事が言われたとおりの違いなのか？違うのか？がハッキリする。

石橋理事：何でここまでなのかなあと。その時のやり取り、今見させて貰ったけど、本当、人事に関わる認識は全くなかったですし、そのあと、菊池先生とか会長がこれ人事の話で会長も聞いてないということだったので、会長に聞いたら、すぐ却下したという話だったから、何でこの時に言われるのかとよくわからなかったです。

内田会長：事務局は吉沼さんで調整に入ったようですと、先生が打たれている。私が却下したのは、事務局長が菊池副会長のままの物を却下している。内容が違うものを却下している。先生は、ガバナンス部ですよ？先生が悪いとか、誰が悪いとかじゃないんです。誰に送ろうとしたのですかを皆が聞いているんです。

石橋理事：それについては、何回も言うように、そこまでこの内容が重いものと考えてなかった。誰にと言っても、この時期色んな人とやり取りしていたから、この人っていうのが出てこない。

仲間理事：色んな人ってどなたですか？こういう内容を話し合われた人？

石橋理事：話し合ったわけではなく、色んな人というのは、こういう件もありましたし、その他も含めて色んな話の中で、たまたまこの話がパツと出てきたので、あーそうなんですねってこと。あたかも、悪いことのように捉えられる認識がわからなかった。今でもよくわからない。

門田理事：悪いことでないことを説明して欲しい。クリーンにフェアにきれいに。誰とやってて、こういうふうになって、何も悪いことはありませんよと言って貰えれば納得する。誰に送ったかわからないと言われると、何かあるんじゃないかと思ってしまう。石橋先生の立場を証明するために洗いざらい言って貰えれば一番わかります。

石橋理事：何回も言うように、これ、平行線になるだけだと思う。

佐藤義理事：山崎先生、今のを聞かれてどう思われましたか？

山崎弁護士：それまでの経緯がしっかりわからないので、どうかなあという気はするけど、期間も近いところなので、あまり覚えてないというのは変な感じがするなと個人的には思う。クリーンに進めて行くところの話は、門田様の仰っておられることの方が納得は出来る。法的にどうなのかのレベルではないと思う。個人的な意見で申し訳ありません。

内田会長：石橋先生、忘れられたんですね？

石橋理事：覚えてないですね。

中島常務理事：門田さんにお伺いしたいのですが、一週間から10日前に、次の体制になる人事について、会長誰、副会長誰、専務理事誰、審判長誰、そういったことをご友人の方にお話しされたことはありますか？また、メールを打ったことはありますか？さっきと同じような話になっちゃうので、そんな話はしたくないんですが、事実かどうか？いかがでしょうか？言った言わないの事について個人攻撃をしていますが、井崎さんと富岡さんとで、2、3日前に間違ったメールを送ったみたいですけど、2020再生の会ってあるのですか？

井崎理事：どうやったら公益化することが出来るのかを勉強する会をしています。誤送信ではなく日本連盟事務局に送っている。

中島常務理事：前の再興の会とは関係ない？

井崎理事：全然関係ない。

門田理事：人事のことに関与はしません。現場には入らない。というのが私の立場です。

中島常務理事：お話しはした？

門田理事：正式には話したことない。

中島常務理事：正式でないなら、お茶のみ話して形ですか？

門田理事：誰がそういうふうに言われたのか？ちゃんと正式に言っていたかないとわかりません。答えようがないです。

岩井監事：皆さんご関心のある議題だとよくわかりました。必要があれば、しっかり調査されたら良いかと思えます。一番最初に山崎先生からお話しがあったように、会議体の場で何を話すかを考えて頂きたくて、理事会はあくまでも意思決定機関であって、皆さんの意見交換の場という側面もあるけど、この議題だけで30分以上使っている。それぞれがどこに向かいたいのか私もわからなくなった。問題点の意識は皆さん共有されているのでそこはしっかり検証する必要がある。この場で続けていくのが良いのか私もわからなくなった。そこは、しっかり認識していただきたいと個人的に思っている。

山崎弁護士：岩井先生と同感で、これを話す場所ではないと思う。必要があれば、理事の適性があるか総会の中で会の中で議決することもあったりするのでしょうか、正に理事会の中で長い時間を取って話すことではないと思う。

内田会長：長時間お疲れ様でした。議題がそれだが、来年再来年の選手のために理事として、皆で協力し合って頑張ってください。ありがとうございます。お疲れ様でした。

以上